

## 教材・支援機器活用実践事例【ICT】

## 授業の振り返り場面での ICT 活用

### 「自己評価のルーブリック化」

子どもについて	所属・学年	特別支援学校・中学部 3年
	障がい名等	肢体不自由
	子どもの実態 (学習上又は生活上の困難さ等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>通常の教育課程で、学年相応の学習を行っている。</li> <li>人前での発表に苦手意識があり、自分の考えを直接伝えることが難しい生徒がいる。</li> </ul>
授業について (教材・教具を使用した授業や指導場面)	教科名等	保健体育
	単元(題材)名	各単元を通して
	単元(題材)の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の終末部分の5分程度を利用して、事前に Classroom で配付した3つの評価の観点をもとにフォームに自己評価を記入させる。</li> <li>教師のスプレッドシートには全員分の評価が書きだされ、生徒は各個人ごとに自己評価したデータが、スプレッドシートに書き出され入力した評価や感想が確認できるようにする。</li> </ul>
教材・教具支援機器について	教材・教具支援機器	Classroom による評価の観点の提示と入力フォーム、スプレッドシート
	教材・教具支援機器について	
	ねらい・工夫点	<p>〈ねらい〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 評価の観点を提示することで、授業の中でどんな学習をするのかを事前に知らせることで学習の効果を高めることができる。</li> </ul> <p>〈工夫点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 単元ごとの評価基準を提示するために年間授業計画の利用</li> <li>・ 個別で自己評価が見られるようにスプレッドシートを自動で分割して、生徒に配付できるようなプログラム (GAS) の作成</li> </ul>
	材料・作成方法等	タブレット端末、Google Classroom、Google フォーム、Google スプレッドシート、Google App Script
子どもの変容や評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業前に評価の観点を確認することで、教科書や資料から大切なことを読み取ることが早くなってきた。</li> <li>・ 自己評価をすることで、自己肯定感が高まったり、感想をしっかりと書き記すことができたりする生徒が増えてきた。</li> </ul>